

【水戸報】茨城縣久慈郡上小川村小川村立女子師範學校本校二年生鈴木ちよ（八）と戀の道行きとしやれこみ水戸市縣前旅館大平館に宿泊したこと發覺し問題となつてゐるがちよはもと隨の教へ子であつて女子師範學校も首席で入學したものと

### 女教諭への不倫暴れ、校長榮轉を取消

さる（昭和二年八月四日讀賣新聞）

結婚後間もなく子供を生んで身のふしだらが暴露しつひに卅一日藤澤自殺を圖つた仙臺高工助教授附屬女子師範學校校長鈴木基氏妻女宮城縣立第一高女教諭及川うめ子（二）の問題からはしなくも當の情人は同校長宮田勝三郎氏なる事が判明し教育界の大問題となつて居るが同校長は大正二年の東大文學部史學科出の文學士で、處女のやうに柔和さうに見えるが實は各代の色障で以前も度々浮名を流して居る然し抜け目のない彼は女が子供を生まぬ内に他へ鞍替へしてうまく問題を覆り去るべく既に此の四月から文部省の有力な某高官を遊つて轉任運動をして居て、四五日藤澤女學校へ榮轉する事に決定したが今度の問題で文部省は俄に狼狽し「とうとう彼に一杯喰はされたあんな者は教育界から永久に驅逐せねばならぬ」といきまき二日直に轉任を取消したと

### 駈落ちの男女、女は小學教員（大正十四年七月三十日東京日日新聞）

廿八日午前四時淺草東本願寺附近をうろつく若い男女あるを取捕ると板本縣警部二又村鈴木時太郎二男新吉（三）及び同縣河内郡山崎村三郎次女新崎はつ（三）で女は小學校の訓導だが二人は先ごろ宇都宮市の活動寫眞館で戀意となり廿七日駈け落ち上京したものである

### 女生徒六人に訓導暴行、全部負傷さす（大正十五年五月十二日報知新聞）

經路電話一經路市立城内小學校訓導日井維松（三）は去月八日頃から女學校入學試験で自宅に復讐に来る受持女學生六名を數回にわたり暴行し負傷せしめたこと發覺、經路署で取調べ中であつたが十日檢事局に送られた

### 教へ子と道行、小學校教員が（昭和二年十月廿八日東京日日新聞）

（仙臺報）仙臺市北五番町高等小學校教員野澤篤雄（三）は廿五日教へ子なる二年生同市立通二番町立小學校附屬竹藪むすめ佐藤せい子（二）と家出したが自殺のおそれがあるので仙臺警察署では各地に手配りした

### 教育界の大腐敗

斯のやうな實際を擧げて參ると實に懸限がありませんのでこれにいたして置きます。これ等の事實に徴しましても、如何に我が國の教育界が腐敗して居るかが明らかに現れます。他人の金品を強奪し、或は高引強盜し、又は教へ子を殺傷し、人妻を姦し、有婦の夫と通じ、或は又教へ子を虐待したり、凌辱するといふ。あらゆる醜態不徳の行爲を敢て爲しつつある徒黨に、焉ぞ、われ等が最愛の子女の教育を安心して委嘱することが出来ませうか。

### 教育界腐敗の原因

斯くの如き、我が國教育界の腐敗を醸成したる原因は、實に物質主義に提はれたる師範校の教育及び教員たるもの根柢觀念の大錯誤等がその因由を成してゐるのであります。我が國の師範教育は智育を主として、德育を従として居ります。即ち物質科學の研究を主として居るのです。そして、師範校へ入學を志望する者は、何の目的で志望するか即ち何がために教員とならんとするのか。

凡そ、國民教育の良否は、直ちに國家存亡の基となるのであります。依つて教育家は國家を負ふて

居る重大なる責任があるのであつて、その責任が重大なるだけ其職務は至大の尊きものであります。彼等、親は師範院入學志願者や師範院生に、師がために師範院に學ぶのかを聞いて見ますに、國民教育の如何なるものか、また教育家の職務等については何の理解もなく、唯、彼等は他に比して學費高く、臨時にして終戦し、就職も容易に俸給を得ることが出来る。との言を以て師範院に入るのであります。實に彼等は俸給を得るといふのが唯一の目的で、俸給を得るために學び得たるものを切實をやつて居るに過ぎないのであります。

彼等教育家なるものが如何に物質的にのみ生きて居るかは、曾て大正七八年の頃所謂財界好況時代に於て、教育界に在つた者の實業界に走つたもの多きに見ても明瞭なことであります。即ちその時代に於ては、實業界では過分の俸給を出して人を雇つた。彼等は現業よりも多くの俸給を得んがために、多額の教へ子に後見で砂をかけ、さつさも實業界に走つたのであります。ところが其後不況時代の到来によつて、實業界では破産破綻といふことになつたので、彼等は再びもとの古里に歸らんと運動したてはありませんか。

### 金を得んがための教職

眞に彼等は教職の何たるを解せず、健全なる國民を養成する責任あるを覺らず、唯々金を得んがためにのみその職に在るに過ぎないのであります。彼等は國家、社會、世界の幸福の爲に活動すべき人格者を養成すべき、公愆的職分に生かすして、金を得んが爲にのみの私慾的生活を爲して居るのであります。故に彼等の行爲には誠に隨つて彼等ははれず、徳なきが故に教へ子等は彼等を尊敬せないのであります。わが國內には近年學校運動が絶えない状態で、生徒等が師たる教職員を排斥したり、反抗の態度を現し、甚だしきは暴行さへも加へるものがある。

昔、新小島時代の師弟はその情、殆ど父子の如きであつた。ですから師を師父とも呼んで尊敬し、その徳を慕ひ終生師恩を忘れなかつたのであるが、いまの學生生徒等は一度校門を出てからは、師を見るを殆ど路傍の人の如くで、師に對するの禮をつくさうとも

しない。斯くの如く學生生徒等が師に對するの非禮は勿論よろしくないが、併し、學生生徒をして師恩を辨へざらしめたるの罪は教職員にある。即ち教職員に彼等を徳化するの能力のないことがその原因をなしてゐるのであります。

### 警察官の現状如何

取次我が國の教育界が如何に腐敗しつつかあるかは前段叙述するところによつて明らからであります。しからば、われ等國民の身命財産を保障し國家の安寧を司る警察官の現状は如何。

先年、帝國警察界の模範たるべき警視廳の監房監視の巡查が、其の留置中に拘る婦女數名を凌辱したる事件があつた。東京日本橋區濱町の某警署へ強盜が入つたのを警生が發見し、賊と格闘中主人の醫師も来て警生と協力し賊を捕へ、直に所轄警署に急報した。警署からは警部が部下の巡查を引連れて急行し來り、賊を本署に拉致して今や白洲で職をやうとその辭を上げさせると、何ぞ知らん、子にも等しき自分の部下の巡查であつたのである。大阪府下の某會社の社員警署へ先時強盜が這入つたことがある。警署中の社員は物言に眼を醒まし、批評へ置いた警身のピストルを一發放つた。賊は驚き一物も得ず戸外へ逃げ出した。社員はピストルを亂射しつつか賊を逐ふた。國策に當直して居た職工はピストルの音に自覺め、これも社員に協力して賊を追跡した。社員は撃つた一彈は強盜に命中し強盜は倒れた。直に所轄警署に急報したので所轄警署からは警部が部下の刑事巡查を引きつけて駆けつけ、倒れて居る強盜を車にのせて本署に來り、見れば賊で辭を遂つてゐるので、その辭を洗つて見ると、これはと計り難い。驚いたのも尤も、この強盜も亦、前にお話した濱町と同じく、その辭の巡查であつたからである。

### 巡查が殺人強盜

大阪西區の元通表と現職巡查が共謀し、大阪府下泉北郡の山中に於て郵便運送人を途中に襲撃し、赤行囊を強奪したる事件が先

年あつた。また數年前、京都五條署の現職巡查二名と、もと同署の巡查二人と共謀し、大阪の株式仲買人を京都までおびき出し、或旗亭で酒を酌み交しながら機取引きの相談中。官服官帽の現職巡查二名は坂に中座し、電車に乗つて大阪へ來り、仲買人の留守宅を襲ひ、留守居の少女を絞殺して、軍需の銃を片端から破壊し多くの金品を強奪したる事件があつた。信州上田警察署の警部補が管内から檢査した辭職を訊問するにあつて、その刑罰を輕からしむることを條件として凌辱したる事件があつた。

### 署長の無錢飲食

北海道の或署の管内に、先年殺人強盜事件があつた。所轄署では極力犯人捜査に盡くしたが容易に犯人が擧がらない。ところが、漸く一年後にその犯人が逮捕された。その犯人は誰であつたか……即ちその署の署長であつたのであります。私が先年水戸市へ出張中に聞いたことであるが、茨城縣下の或海濱の町にある警察署長は、その管内の料理店で常に無錢遊興をやつて居る。料理店連中は署長に只存みされるのに困つて、料理店長の末、料理店長等々の三三組合の積立金を以て署長の只存みの損費を補填することになつた。署長はいいこととして感んに無錢飲食遊興をやつた。三三組合の積立金は六百圓程あつたのだが、署長の尻拭でスツカリ支拂つて終い残りは一圓もなくつたが、署長は變態らず無錢遊興を續けて居るので、三三組合ではこのさき何うしたらよからうかと、青島士息頭痛録卷の態であるといふことであつた。また、某署の巡查等はその受持區域内の料理店で無錢飲食するばかりか、只存みした上に歸りには棚にあるビールまでも懐に忍ばせるものもあるとの話を聞えた。

### 五十名の俸給を巡查部長が持逃げ、大狼狼の神戸湊川署 (昭和二年七月二十二日讀賣新聞)

(神戸電) 神戸市湊川警察署警務課主任巡查部長藤田五郎(五郎)は一昨日同署の警部以下職員五十餘名に渡す俸給數千圓を銀行

へ受取に行つた儘携帶逃走したが二十一日横濱に入り込んだ形跡があるとして兵庫縣警察部から本縣警察部へ對し極秘で取り押へ方を依頼して來た之がため同署員は俸給が貰へず大騒ぎを演じてゐると

### 姫路署の警部補被告の妻に暴行、夫の訓導を檢擧しその留守中に職權を以て (大正十五年六月十七日報知新聞)

姫路支局電話—姫路警察署警部補川有三男(三)は去る五月上旬自分の手で檢擧した色魔教員同市城南小學校訓導主任井根松一校(三)にも思ひをかけ職權を濫用して種々便宜を興へ、維松が刑事被告人として獄舎につながられる身となるや、その留守を幸ひ五月二十五日夜來數回にわたつて官服のまゝ、一校に暴行せること發覺、十五日岡本署長の手で取調を開始した、一校は獄中での暴行が原因して流産の兆候あり目下病床に臥してゐる

### 巡查部長が賊 (昭和四年一月東京日日新聞)

(岐阜電) 廿八日午前五時半岐阜市神室町職立醫院警員松田正太郎(假名)方へ一名の怪漢忍び入り金品を物色中家人が眼をさまし岐阜署へ急報したので同署員十數名が逃走せんとする賊を追跡取押へると右は同署刑事課勤務巡查部長横山軍(三)と判明、警部事務課に送つた、同人は非常の酒氣で常に遊里に入りびたり遊興費の支拂ひに窮し賊を働かんとしたものらしい

### 淫亂署長官舎で強姦専門 (昭和三年七月三日新潟時事新聞)

(伊東電) 新潟市寄付町七番二女(三) (假名)は新潟縣伊豆伊東の魔窟に賣られ、淫賣を強いられるを嫌ひ、先日伊東署に保護願ひに出た處同署村松署長は夜中人なきを幸ひにいきを官舎に連れ込み凌辱を加へたので、いきは口惜しさの餘り公表した處から同署警察界の大問題となり目下盛んに輿論を喚起し警察内の腐敗を叫ばれてゐるが同署長は先にも二月十九日同署に保護

脚ひに出た愛知縣南設楽郡新坂町生れ齋藤よし(三三)(假名)を同僚官舎に引き入れ甘言を弄し五日間同居してゐた外務員某々の妻に對し醜行を挑んだ事ありし事實露せし署長齋藤の監は猛烈に擧がつてゐると

### 免職された暴行巡查 (昭和二年七月二十三日讀賣新聞)

警視廳警務部警備課勤務巡查千葉隆生れ佐藤治一(三三)は職務濫用の罪に問はれて數日前免職処分になつた事件の内容は本月十三日夜麻布區山本町の待合合設樂事太田拾治郎方女中千葉隆山武郡片見町中津とし(三三)が客と自動車で芝公園へ経路に行つて自動車から降りると間もなく赤猿の形事と稱する男が現はれて警察手帳を見せ、としを五重塔附近に連れ込んで暴行を加へて立去つた事實がありその當時ニセ刑事に誘惑されたと大騒ぎ中としが凛然として設樂方に露つた事から端しなくも同人の仕業と推察したものであると

### 公金二千圓盗んだ巡查 (大正十三年十月一日報知新聞)

京都府巡查近藤政善(三三)は公金二千圓を拵帯なじみ齋藤ふく(三三)を通じて廿九日東京へ逃げて來たので警視廳で捜査中なるも今は行方不明

### 公金の穴埋に警部が賭博 (東京日日新聞)

神奈川県警務部岡本警部の公金費消賭博事件は引き續横濱地方裁所檢事局で西村大塚兩檢事により益々捜査の手をひろげ一方佐藤津和事の手で岡本及び賭博犯牛田重孝外三名に對し嚴重なる取調を行つてゐるが岡本等一味の賭博は一昨年來月數回連日行はれてゐたもので右四名の外は數名の賭博同僚者を檢事又は起訴する確據である

### 人妻に振られて暴行を働いた巡查 (大正十四年七月三十日東京日日新聞)

豊島區の一巡查が人妻に不都合な振舞をした腹で懲戒免職となつた事件がある、去る廿三日夜、豊島區警署ノ警交課所勤務巡查山野邊進が庚申塚カフェー日の出で泥酔しかねて懸想してゐた同家の娘きよ(三三)にいひ寄つたがていよくはねつけられたのでビール瓶等を投擲して同家を立ち去り途中警署ノ警の暗闇で通行中の山崎某妻に怪しからぬ行爲に及んだのを夫の山崎が悲鳴を聞いて駆けつけ狼藉中の山野邊を取押へたが酔ひが醒めると山野邊は頗る狼狽し翌廿四日ビール一ダースを持つて山崎方へ内渡にしてくれと泣き込んでいつたことが報知したものである

### 一一 巡查が暴行

(宇都宮電話) 十七日午前十一時頃宇都宮市中川町九六七料理店富清事宮田角藏(三三)方の表戸を叩きつて闖入し二人連の客が登樓しようといふので角藏が斷ると矢面に器物を投げつけ遂に大格闘となり角藏は頭部數ヶ所に重傷を負ふ事(三三)は右手に負傷したが急報に依り宇都宮署より刑事巡查出張取押へたが右亂暴者は宇都宮警察署池上町巡查出張所詰の笹野春松並に尾田金作の兩巡查と押戻し市民の非難を招きつつあり

### 醉漢の物を巡查が盗む (大正十四年四月二十四日東京日日新聞)

(京都發) 京都七條署の巡查伊藤貞直は十六日夜酒醉者を檢束して取調中酒醉者の懷中にあつた龜岡銀行の預金通帳を奪み出し同銀行京都支店から三千五百圓の現金を引き出し費消したこと露せしたので府警部では同人に免官の處分をなし廿三日文書偽造詐欺罪として檢事局へおくる筈

### 宴席で巡查がスリ、虚榮の妻に引かさ

れて (大正十五年三月九日國民新聞)

【鶴島電】鶴島郡山警察署勤務同職安積三和村駐在巡査警田政彦(三)は去月廿三日同村でポンプ購入被誘會があつた席上同村消防組郵便局長磯本一郎氏の所持してゐた現金六百三十圓を窃取した事發覺五日收監された  
寶田は茨城縣の生れで露性を瀬山といひ大正十三年來郡山署に勤務してゐたものであるが右犯罪の外前後數回に亘つて金品を窃取してゐた事も報明した露性の動機は同人妻某(三)が八十圓餘の着物を郡山市某呉服店から買求めた事から足が付き逮捕に至つたもので妻の虚榮心を満たすために巡査の身としてかかる大難なる罪を重ねてゐたものだ

### お巡りさんの酔は女一人を十二人で

(昭和三年七月二日讀賣新聞)

府下戸塚町源兵衛一のやぶ蕎麥畑つや方の出前持ち女本職し(三)を戸塚警察署の警官十二名で某行凌辱を加へた事件はしすの告訴で明らかに出た  
非常識も甚だしいこの行爲は警察界空前の出来事で、人民保護の重責に在る警官が職責を忘れた由々しい事件として各方面の問題となつて來た、警廳では重大視して第二方面監察官小林警視の手で明日から事件を根柢から洗ふことになり同署に出張して取調べることになつた、戸塚署では口を拭つて事實を否定してゐるが  
四月中旬刑事佐野藤吉を警官免官に、新田弘巡査を杖罰詰から交番勤務に左遷しその他十名の警官からは始末書を取調成を加へながらこれを監督官たる警廳に上申せず臭いものに蓋をしながらひた隠しにし、そのままになりそうであつたが  
職員が蕎麥代の支拂ひを怠つたり、警察を鼻にかけて威嚇り散らすことなどが今度の告訴の原因になつたもので全く感情問題で戸塚署も痛し痒しの立場になりやぶそばも何處かに引越さねば所費が立ち行かぬ破目になるなど兩すくみの形である  
暴行された出前持の女は白痴のやうにも傳へられたが白痴でもなく近く縁ぎゆく身であるからこの事を隠せるだけ隠して來たが酷い警察だと家人がこぼすのに釣り込まれて後舌たのを情人某に知られて終つた一昨年一月十二日新報の戸塚署に初めの脱獄始めが

あつた、黒岩警部補と石橋巡査が世辞役で無禮講式の宴會を流武場で開催し酒をどつさり買ひ込んだので十二名の巡査は胃障り二次會をやつた、肴がないので蕎麥を注文して、しずが持参したところ、そばはそのまゝに十二名が競争的にしずからみかかつた、佐野刑事が電話室に運込んで暴行を加へ、それから保安室に引き摺つて行つてからは十一名の警官が代る／＼見るに忍びぬ行爲をしてしずは二時間近くも玩具にされて泣きながら歸つたが、このことを一言も話しなかつた。それが四月頃になつてから主人などがいろ／＼と警察官の酷いことを話してゐたのでしずはうっかりこのことを饒舌つて終つた、強い酒量のそば屋と、警察官の感情のいざこざが、こうした大事件にしてしまつたのである。

### 國家の保安國民の生命財産危ふし

以上列挙したる事實に見るに、我が國の警察官中には、殺人強盜を爲し、掠奪擄頭をやつたり、無禮遊興をやつたり、窃盜を働いたり、職權を濫用して人妻を強姦したり、婦女子を凌辱したりして居る。  
我等國民の生命財産を保障し、國家の保安維持の責務を有する警察官吏が、我等國民の生命を殺傷し、財産を擄取し、防備を蹂躪するの兇暴非行を爲すに於て、いかでか、我等國民は彼等警察官吏に安心して、その生命財産の保障を委託することが出来ませうか。尤も我が國の警察官吏の中には、立派に公愨な生活を爲すものもあるが、それ等は嚆矢の星の如く稀であつて、多くは私慾な生活を爲しつゝあるのであります。

### 宗教界の現状如何

つきには、わが國民の思想を善導教化すべき任にある宗教家の現状は如何。

### 三代相傳した法華宗の争ひ

(大正十五年三月九日某紙)

日蓮上人二代目の法燈を繼いだ日蓮師の高弟日蓮師開山にかゝる。龍溪院龍溪院三師法華宗大本山成寺貫首小松日蓮師を同宗中本山京都寺町今川本願寺貫首金子徹風師一派が執念に排斥運動を行つてゐるが金子派が大本山貫首を排斥する運動は今日まで既に三代まで及んでゐるが最近に至り猛烈なる勢ひを以て金子派では死傷殆ひで越中、三河、京都方面の同志を糾合し文部省宗教局に右排斥の事理を陳述した

### 公金横領を發く憤慨、大本山派で

此運動に對し同宗三百の末寺中二百までは金子派に賛成してゐる本山派では此運動を金子派の本山乘取となし金子派では宗門革命のため奮起したものと反駁しお互に宗務を放棄して勢いの赴く所由緒ある同宗の確立まで進むやも圖られないので文部省宗教局の厳正なる裁断を希望してゐるが一方本山派では金子派の家庭に潜む亂倫問題及公金横領問題を暴露して金子派を揺り宗門百戦の實を艾かねばならぬといきまいてゐる

### 總持寺末寺に疑獄 (大正十五年三月九日某紙)

(川越電話) 埼玉縣入間郡南郷村總持寺の末社興善寺新任小幡宗憲(一)に係る奇怪な事件が起つて目下川越縣で内偵中である右は一昨秋現南郷村江間村東院住職文學士中井殿俊氏が一昨秋總持寺事務本部に勤務中のある富山縣にゐる小幡氏を興善寺住職として推薦した  
その際土地の關係から同じ末社である北足立郡大久保村大泉院住職高澤仁善師(二)南郷玉郡平野村寶院中谷賢師(三)の兩師に轉院方を依頼したのを奇禍として兩師は自分等に推薦願があるが如く突つて小幡師が新任住職として納める程恩金又住職披露式費用其他多數の金銀を横領して持合等に入浸つて費消した事が發覺したらしく重大問題となつてゐる

### トカゲが辨當のお菜 (昭和二年九月四日東京日日新聞)

(清水發) 清水市外西余村名川淨海寺住職山本周弘(一)は後妻みつ(二)と共謀して先妻の子周光(三)に燒け火箸を突きつけたり荒廳で縛り自轉車にくくりつけ道路を引摺り廻したり飯も食はず一室に二三日もたゞき込んだりすることを去る六月清水縣で探知し兩名を誣成したがその後一向改悔の色もなく益々虐待の度が加はりために周光は極度に衰弱し歩行も困難になつた去る七月中周光の通學の辨當を調るとおかずに胃とかけを煮て入れ更に數日後描いらすを辨當に入れ毒粉をはかつたのを教師が發見し清水縣もすて置けず一日以來證據蒐集し周弘の師匠野間市大林寺の住職その他をも取調中

### 宗教學徒あるも宗教家なし

東本願寺光顯法主は先般父光顯氏と財産問題で法廷で争ひの醜態を演じ世人をして眉をひそめしめ。又佛教徒を造る東洋大學では先般生徒が校長境野氏に人糞を振りかけた。各宗大學では紛擾起らざるところ殆どなしといふ有様、而して各宗寺院僧侶の生活實際を見るに豪奢、淫蕩、怠惰、無慈悲、貪慾、争闘、物慾旺盛を以て日常を送つて居る。幾萬僧侶の中には稀に高徳のものもあるが、その多くは、宗教を理解せず、隨つて靈光の樂土に住することが出来ず、俗人と毫も異なるなく暗黒裡に罪惡の生活を爲し、衆生深度の職にありながら、却つて深度を受くべき立場に在る。佛教以外の宗教界にも矢張り僧侶の如き罪惡生活を爲して居る者が多いのであります。現代我國には宗教學者は澤山ありますが、眞に宗教を理解し宗教の眞髓を觸み、大靈力を体得し、大靈力を顯現して自他の病癩を治癒し、また、その煩悩を解脱せしめ、一切衆生をして光明爲樂の淨樂に住せしめ得るの眞宗教家は尙に少いのであります。

### 暗黒時代の日本

我々現時の状態を観察しますれば、上流階級と云ふところによつて明らかなる如く、家庭に於ける、夫婦、親子等の生活、資本家労働者地主小作人等の生活、商業工業農家等の生活、官吏等の生活、政治家等の生活、教育家宗教家等の生活は、その多くは公慾的光明でなく、私慾的暗黒であります。正に我が國民の多くは、靈性を麻痺し、靈光を滅し随つて、我が國は暗黒時代を現出して居るのであります。暗黒なればこそ、我々國民の多くは常に不安恐怖の懸崖に墜はれ、落書き苦しみ悩んで居るのであります。

このまゝに暗黒を持続しましたならば、世界無比の光輝ある歴史を有する、天祖の國、我々日本國は亡びて了ふのであります。實に我が國は今や累卵の危きに在る。須臾もこのまゝに過ごすことは容さないのであります。

### 猛然起つて日本及び世界を救へ

皆さん方は、幸ひに泰山教の門に入られ、至上至尊の大靈の實在を確信せられ大靈の大法眼を悟得し、至誠の精神の生活、即ち公慾的生活を精進するに至り、茲に過去の無明界より解脱せられ、現實光明の世界を顯現して、安樂歡喜法悦の生活に入ることが出来なすつたのであるから、之れからは光明道に勇往邁進なされ、泰山教を宣傳弘世し、無明に悩む我が國民を救ひ、光明界に導き入れ以て國家を累卵の危態より救出して泰山の安きに置かれんことに献心身の大努力を御願ひいたし、且つ猶ほ進んで世界全土の人類初め一切の衆生を濟度し、大靈光文明の理想境を實現せられんことを謹んで御願ひ申す次第であります。

### 戦争は罪惡の極

人類創生以來現代の如く、虚偽多く行はれ、私慾旺盛に働き、種惡の所作甚だしきことは、未だ曾てないのであります。戦費三億圓といふ巨額を費消し、無慘にも三千萬人といふ大衆の死傷者を出だしたる、彼の世界大戦争は人類創生以來未曾有の大慘劇でありました。そして、その戦争の原因は私慾と私慾の衝突であつたのであります。他の領土を侵掠奪取せんとするより甚だしき物慾慾はないのであります。而して、他の苦痛を顧みず自我のみ享樂を貪らむとするの甚だしきものは實に戦争より外にないのであります。而して又、人間生活中に於て諸種の罪惡の最も甚だしく露現したるものも亦戦争なるものであります。

### 永劫不滅の眞理

奪いたるものは復奪はる一天に向つて奪すれば己れの體に落ちて来る一卑近なる如きものは永劫不滅の眞理であります。奪ふてしかして奪はれざるものは未だ曾てないのであります。しかるに、凡俗等は此の眞理を覺らず、必然的に奪はるゝことを願はず、ひたすらに奪ふことのみを奔命し苦惱して居る。實に憐れなる次第であります。

廣大無邊の宇宙我に靈眼を開かずも、まづ小さき地球我に心眼を覺したならば、凡俗等が巨額の戦費を奪ち、多數の人命を亡なつて、勝たる者は土地を得たりと喜び、負たる者は土地を失つたりと悲しんで居るが、地球そのものに寸毫の増減もないのであります。更に寸毫の増減なきに拘はらず、凡俗等は勝た、負たと、唯、地圓の色を奪じて喜憂樂を爲して居る。何といふ愚なことではありませんか。

### 先づ與へよ

凡俗等は常に奪ふことのみを願ふことを欲しない。そして、奪ふては奪ひ取らるゝ。斯くの如きことを常に繰り返して苦しみ、悲しみ、眞乎爲樂の悦びを得やうとしないのであります。否、當然與へらるべき恵みの悦びを享くるの道を知らずに居るので

あります。

假令ば、社會を茶碗に盛たる水といたしませうか、凡俗等はその水を皆己れのものにしようと手前の方へ漕ぎ寄せ、いくら漕ぎよせても何時の間にか元へ返つて了ふ。即ち得たと思ふと既に失つてをる。かういふことを常に反覆して苦しんでをる。海に氣の毒なことです。船へは必ず漕ぎ去らるゝ。そんな愚なことをせずに、先づ與へよです。しからば必ず與へらるゝ。これ因果の法則で、また不滅の眞理であります。茶碗の中の水を手前に寄せずに反対に先方へ遣るのです。即ち與へるのです。さうしますと、求めずとも手前の方へ戻つて来る。即ち與へらるゝのであります。凡俗等はこの自慙の天理を覺らずに、天理に逆らつた遣り口だから苦しむのであります。

汝、まづ與へよ、然らば必ず與へらる。これ千古不拔の天理であります。しかし、與へらるゝことを望んで與ふるが如きは、正に天理に反するものであります。得んが爲に與ふるといふことは、私慾の發動であつて虚偽精神であります。何も望むことなしに唯與ふるのです、得んがために與ふるといふ相對性でなくて、唯、ひたすらに與ふるといふ絕對性でなければならぬ。この絕對性こそは、大慈悲であり博愛であり公愆の發動であつて、即ち至誠の精神であります。精神的にも物質的にも、努力的にも、まづ與へよです、解りよく申せば、無條件に與へよです。たださうすればよろしいのです。宇宙大靈の尊の大原理は昭昭にして至公平のものであります。この大原理は常に至公平の下に昭昭に行はれてをるのであります。

與へらるゝ事、救はるゝことの愚なる望みも夢にも起さずに、常に與ふること、救ふことに精進なさらねばならぬのであります。

### 宇宙我、地球我に生きよ

宇宙は我なりとの悟りを得たならば、太陽も月も地球も其他宇宙間の凡物は、悉皆これ我であり、渾一の我である。どこに愛憎の統るゝところがありませんか。また、地球我に目覺たならば、地球渾一我である。即ちアメリカもロシアもイギリスもフランスもイ

タリもドイツも支那も日本も、いづれも我であり、地上の人間、禽獸草木その他一切凡物悉皆これ我であります。どこに我以外のものがあるませうか、既に我以外のものなし、然らば何處にも敵のある筈はない。正に渾一絕對の我であります。何ぞ愛憎の統るゝところがあるませうか。しかるに凡俗等は地球我に目覺らずして、國家我に執着して自ら溝壑を造つて相対し相争ひて苦しんでをるのであります。もし、地球のどこかに、地球の圓滿幸福を妨ぐるものがあつたならば、その妨げを除くことに努力する。假令ば身体の圓滿幸福を妨ぐる病氣なるものがあれば、それは務めて除去することにせねばならぬと同じことで、これは慈悲の發動であります。また、地球我に目覺ると、地球間雜る處、我の處であり、家も國も山も谷もその他悉皆我の所有であります。故に何物も欲しいといふ慾念が出て参りません、それを地球我に目覺ず、個我に執着するから、そこに溝壑を掘り、坑壑を造らし、それ以外のものを他の所有とするから、隨つて自己所有以外の物を欲しくなり、それを得んとして虚偽精神を働かして苦痛を擧いで居る、流に愚なことであります。皆さん方は個我に生きず、地球我に生きて、自他の差別を超越し、渾一悉皆の我に活き、その地球我の健全なる發達に努力せねばなりません。

### 國家我、家庭我に目覺よ

世界各國の民人は、國家我に目覺て國家の健全なる發達を企圖し、眞に圓滿幸福の國家我を完成することを企圖してをらない。各國家の民人は、黨を結び、派を作つて相争ひ、一日も憂如たるを得ない状態にある。これ各國民人が私慾の發露であつて、醜惡の極に彷彿して居るのであります。

また、各家庭人は、家庭我に目覺て、その健全なる發達を爲んとせず、各自個我に執着して溝壑を作り、圓滿を破壞し、家庭渾一の大我に生きずして、差別の小我に盡き、神愛全仁の家庭我を没却して、不純の愛憎に支配されて苦悶してをる、夫婦、親子、兄弟、姑爺、主従等に相争ひ、相争ひ、光明の家庭に安住することが出来ずに居るのであります。



わが國の法律の中の、民法財産篇では、夫の財産を認め、妻の財産を認めてをりませんが、此は善しな法律ではありませんか。夫婦共同で造つた財産は夫婦の物であるのが當然であります。然るにその財産全部は夫だけのものではないといふに至つては、世に之より横暴、非理、殘忍なることがありませうか、こんなことで夫婦の圓滿生活を求めんとするは、所謂、木に縁て魚をもとむるの愚にも及ばないといはなければなりません。

私が、既に第二講字宙法則篇中に述べたる如く、夫婦なるものは、二にあらざして一であります。一つといふことは、心身渾一體をいふのであります。即ち精神物質共に一つであつて不可分のものでもあります。この不可分の渾一體の夫婦であつてこそ、眞實の夫婦であり、圓滿幸福の夫婦生活であります。

然るに、わが國の法律では、夫婦を渾一體とせず、分離体と見做してをる。これは夫婦の圓滿生活を破壞する悪法といはねばならぬ。

また、我國法中に、未成年者禁酒法と未成年者禁煙法といふのがあることは皆さん御承知の通りであります。これは家庭の圓滿生活を破壞するの悪法と私は思ふのであります。なぜかと申せば、酒好きの親達が家族一同して夕飯を飲むときに、酔酩、酔酩をやるとしますか、そこには年頃の仲も娘も居る。しかるに、親父は娘に對ひ「オイ、娘、この酒は誰の生一本で順る旨い、もう一本つけろや。」娘「そりですわね、ほんたうに美味ですわね、もう一本頂ませう。」と、かうやつて、子供等の面前で美味いくと親達が呑みながら、親父は仲等に向ひ「お前達はまだ十九か二十歳で二十歳にならないのだから、この酒は馬鹿に旨いんだが、俺達慈悲の行爲では、どうして親子の圓滿生活を得られませうか、實にこの法律は親子の圓滿生活を破壞する悪法であります。こんな殘忍無上の好むところ下これより甚だし、親の欲するところ、子これを奪む、これ當然であります。もし、子等に爲せてならぬことであるならば、親これを爲ねばよろしいではありませんか。こんな惡別に即し、愛を無視した悪法を作つて、何うして家庭を治め、家庭

の集團たる國家を治めることが出来ませうか。我の根元を悟らざるの凡俗等の作る法律の、暗黒にして危險なるを隠れみ、隠しむるのであります。

このやうな、自我に即し、差別に提はれたる思想を以てしては、純眞なる家庭我が出現が出来やう等がないのであります。

### 生者必滅は一大真理

奪ふたるものは奪へ取らるゝ、滅んや生者必滅は一大真理であります。現象界に生じたる太陽も地球も、究竟は滅滅するのであります。近時、天文學者等も太陽の必滅することを漸く信じたるもの、如く、或者は何十萬年後に滅するといひ、或者は何兆年後に滅するといふやうに。假令、その消滅するの時期に於ては彼等の間に一定せざるも、其必滅するといふ結果に於ては一致してゐるのであります。

地球の必滅はまた當然のことでもあります。しかるに、凡俗等は必滅すべき地球なることを悟らず、永劫に實在すべきものと迷信しその表面に於て争闘掠奪に没頭し、ために吾儕を脱離することを得ずして居る、嗚呼、何といふ愚にして、また醒れむべきものはありませんか。

### 一大靈燈を點ぜよ

我等は起つて、凡俗無明の苦海に一大靈燈を點じ、以て宇宙の真理を悟了せしめ、罪惡の岸より凡俗等を救ひあげ、光明輝輝純眞至樂の淨境に安住せしめねばならぬのであります。

皆さん方が、この聖業を遂行して下さるには、大慈悲の寶劍を眞向に翳して、毀譽褒貶を超越し、金力や權力に屈せず、また猛火も辭せず、怒濤も何かあらむの大決心、大勇氣を以て邁往直進して願

ひ・たい。然・ら・ば、必・す一・切の・悪・魔を・滅・盡し・て、所・期の大・願・望を・成・就す・るこ・とが・出・來る・ので・あり・ます。

〔上編〕終

昭和七年十一月十日 納本  
昭和七年十一月十五日 發行  
昭和十二年三月廿日 再版

泰山教學講授錄上編(奥付)非賣本

著者 加藤 泰山  
發行者 福島縣若松市馬場上一之町六番地 加藤 藤 兒  
印刷者 新潟縣三條市一之木戸三五八番地 小林 金 資  
印刷所 新潟縣三條市一之木戸三五八番地 小林 印刷所

不許複製  
禁轉載



發行所 會津若松市馬場上一之町六番地  
大日本哲學院教學部  
振替口座東京七三九二七番

372  
244

終